

『2024年度 レフェリーの目標とビーチバレーボールの重点指導項目』

JVA大会運営事業本部 審判規則委員会 指導部

1 目標

- (1) 競技規則の精神を理解し、論理的・実践的な知識を習得する。
- (2) 正しい判定するための眼を養い、そのための基本的な動きや位置取りを研究し、審判技術の向上に努める。
- (3) 多くの経験を通して、強いメンタルと人間性の醸成に努め、よりよいゲームマネジメントに繋げる。

2 重点指導項目

【ファーストレフェリー】

- (1) ハンドリング基準について
 - ・オーバーハンドのセットアップやハードドリブン（強打）のオーバーハンドレシーブについて正しく理解し、試合を通して同一の基準で判定を行う。
 - ・オーバーハンドでの返球は、常に予測しアタックヒットの反則に注意する。
- (2) サービス許可について
 - ・ラリー終了後、12秒以内にサービス許可のホイッスルができるよう、両チームが遅延なく準備をするよう積極的に促す。
- (3) 遅延行為について
 - ・ラリー間やセット開始前、タイムアウト・テクニカルタイムアウト終了時において、選手のどの行為が遅延の対象となるかを理解し、選手の遅延を防ぐ。
- (4) 各プロトコルの的確な運用について
 - ・マッチプロトコル、ボールマークプロトコル、メディカルアシスタンスプロトコルおよびプロテストプロトコルについて、その運用方法を理解する。
- (5) 不法な行為について
 - ・選手ならびにチームスタッフの不法な行為は、毅然とした態度で競技規則を適用する。

【セカンドレフェリー】

- (1) コートスイッチについて
 - ・コートスイッチの手順および取扱いを十分理解し、スムーズに行えるようにする。
- (2) 得点とサービス順について
 - ・スコアラー、アシスタントスコアラーと密に連携し、両チームの得点およびサービス順の確認を確実に行う。
- (3) 遅延行為について
 - ・選手のどの行為が遅延の対象となるかを理解し、積極的に選手を促しファーストレフェリーを補佐する。
 - ・選手の不測の事態（砂が口に入りうがいをする、サングラスが破損し交換する場合など）に対して、適切なコントロールを行う。

【スコアラー】

- (1) サービス順の確認、得点の確認をしながら、正確に記録をつける。疑わしいときは試合を止め、アシスタントスコアラー等に確認する。
- (2) コートスイッチとそれぞれのセット終了レフェリーに正確に知らせる。

【アシスタントスコアラー】

- (1) 常にスコアラーと連携し、サーバーの番号や得点を確認する。ラリー終了後、直ちに次のサーバーの番号（ナンバーパドル）を示す。